

特別セッション

先送りできない日本

— “第二の焼け跡”からの再出発

ジャーナリスト 池上 彰 氏

学生の皆さん、池上彰さんと
日本の未来について考えてみませんか？

日本人が復興のために、いま決断すべきこととは？

日本人は六〇年前、焼け跡から再出発して、今の豊かさを築きました。広島、長崎と二度の原爆の被害も受けました。にもかかわらず、日本はあの瓦礫の山から不死鳥のように蘇ったのです。(中略) このところの日本は、いろいろな面で行きづまっていました。行きづまりの原因は、これまでの政治が、さまざまな課題を先送りしてきたことにあります。もう日本に先送りは許されなくなったのです。この震災を機に、もはや先送りは許されません。日本に住む私たちは、その現実直面しています。(先送りできない日本— “第二の焼け跡”からの再出発—前書きより)

特別講義

【日 時】 9月21日 (水) 15:30~17:30

【講 師】 池上 彰氏

参考書籍：『先送りできない日本』(角川 one テーマ 21)

【講義室】 東北大学百周年記念会館
川内

【対象者】 東北大学在校生

【主 催】 東北大学、角川書店

【申し込み】 (方法) 下記の URL からお申込みください。

<https://www11.bureau.tohoku.ac.jp/bosyu/ikegami/>

(締切) 9月7日 (水)





池上彰（いけがみ・あきら）

ジャーナリスト。1950年、長野県生まれ。慶應義塾大学卒業後、73年にNHK入局。報道記者として、松江放送局、呉通信部を経て報道局社会部へ。警視庁、気象庁、文部省、宮内庁などを担当。首都圏向けニュースのキャスターなどを務め、94年より11年間出演したNHK「週刊こどもニュース」で話題に。2005年3月にNHKを退局し、現在はフリージャーナリストとして多方面で活躍中。